

令和2年度『生活指導についての基本方針』

練馬区立石神井中学校

生活指導部

1. 生活指導目標

- (1)あいさつ、時間やマナーを守るなど、望ましい基本的生活習慣を身につけさせる。
- (2)主体的に学習や諸活動に取り組む力を育てる。またその過程を通して、成就感や達成感を経験し、充実した学校生活を意欲的に送れるようにする。
- (3)自治的な活動を通して、自主性や学級・学年・学校への帰属意識を高め、好ましい人間関係を築かせる。

〈目標達成のための実践〉

- ①**生徒理解**に基づく個別指導、全体指導を進める。また、そのための情報交換を密に行う。
- ②生徒の実態を踏まえながら、**重点項目**を定めて指導を行う。
- ③学級活動や授業をはじめとする学校生活のあらゆる場面をとらえて、全職員が**継続的な指導**を行う。
- ④**全校一致の指導体制**を確立するために、話し合いを通して合意形成し、各学年、学級が同一の歩調で取り組む。
- ⑤学校行事、生徒会行事など**行事への取り組み**を強める。

2. 生活指導の具体的な取り組み

(1)基本的生活習慣の確立をめざす

①時刻を守らせる

- ・遅刻をせずに登校させる。
- ・全学年25分朝読書開始を徹底させる。

- ・日常的な声かけを行い、チャイム着席を徹底させる。

②挨拶と場面場所に応じた望ましい言葉遣いや態度(姿勢)を身につけさせる

- ・朝と帰りの挨拶、職員室等への出入り、来客への挨拶。
- ・来客、教職員への言葉遣いの指導。

④身だしなみその他のルールを遵守するよう指導を強める

- ・誰の前に出ても恥ずかしくない服装としての「標準服」の意味を考えさせる。
- ・髪型や服装などで「逸脱」があった場合は、積極的に家庭と連絡をとり、すみやかな指導を行う。

※「生活のきまり」を確認(特に季節の変わりめ)して学校全体で指導する。

⑤集団行動をきちんとさせる(学年集会・全校集会・学校行事等)

- ・すみやかな整列。
- ・静かに話を聞く態度と礼法指導。

(2) 授業規律の維持

①授業を真剣に受けさせる

- ・受け身では無く、積極的に発言するなど主体的に授業に取り組ませる。
- ・忘れ物や私語、居眠りなどは見逃さないで、その場で必ず指導を行う。

②情報の共有

- ・再三の注意に応じない授業中の不規則発言や居眠りなどは、担任や学年に速やかに報告し、学年全体で指導する。
- ・場合によっては別室で対応し、家庭連絡等も行う。

(3) 学級経営の充実

①帰属意識を高める

- ・生徒どうしの人間関係が親密で、暖かい雰囲気学級づくりを目指す。

②学級を単位とした行事を充実させる

- ・全員がまとまって取り組み、達成感や充実感を得られるようにする。

③当番活動の活性化

- ・清掃や係当番・給食当番などの諸活動を確実に行わせ、協力する姿勢・主体性を育成する。

(4) 生徒会活動の活性化をはかる

- ・役員会への働きかけを行い、各委員会の活動が活性化するようにする。
- ・各委員会の仕事を明確にして、取り組み内容について精選する。また、必要があれば新たな取り組みを模索する。
- ・中央委員会などを通じて、学校の諸問題の解決をはかる。

(5) 校内環境の整備

- ・担当教員は必ず担当場所につき清掃指導を行い、丁寧な清掃活動を定着させる。
- ・清掃用具の使い方や掃除の仕方について丁寧に指導する。

(6) 生徒理解に努める

① 積極的な声掛け

- ・偏りのないように、より多くの生徒とコミュニケーションをとる。また、連絡帳等を使いコミュニケーションの充実を図る。

② 生徒と心が通じ合う指導を進める

- ・授業、学級活動、給食、清掃、委員会、部活動など、あらゆる場面において教員が模範を示すと共に生徒理解に努める。
- ・教師側の言葉遣いの配慮、体罰の禁止。
- ・必要があれば個人面談を行い、友人関係の悩みや学習・生活・家庭での悩みなどについてカウンセリングマインド(肯定的配慮、共感的理解など)の姿勢で話を聞く。

③ 情報の共有

- ・学年間で情報を共有し、学年全体で生徒理解を深めていく。また他学年の授業に出る先生や部活顧問にも必ず情報を提供する。

(7) 予防的生活指導

① 巡回強化

- ・掲示物の破損やトイレのいたずらなど破損箇所がないか常にチェックをする。
- ・常日頃から、生徒の友人関係などを観察したり、コミュニケーションをとり生徒理解に努める。
- ・生徒が登校する前や下校後の見回りを実施し、変わった所がないかを確認する。

② 不要物を持ち込ませない、貸し借り禁止

- ・不要物を持ち込むことにより授業に集中できないことや、トラブルのもとになるなど、日頃から持ち込まない事への理解と指導をする。
- ・教材の貸し借りは禁止。前日にメモをとらせ、確実に持ってくる習慣をつけさせる。(トラブル防止含)
- ・不要物の返却は、原則として保護者に返却する。

③他教室の出入りの禁止

④声掛け(挨拶)

- ・教員が手本となり、元気なあいさつをする。
- ・あいさつを交わした時の様子を観察し、その様子を子どもに返す。(・元気なように見えるけれど…。・顔色が悪いけれど…。など)

⑤保護者との連携

- ・保護者への連絡は、気になる事があつたら、ためらわずにすぐ連絡する。
※連絡が遅くなり「なぜ、もっと早く教えてもらえなかったのですか」と複雑化することがある。
- ・連絡を頻繁に行うことにより保護者とのコミュニケーションが取れ、より連携が深まる。また、家庭での状況が把握でき学校・家庭両方からの効果的な指導ができる。
- ・悪い事ばかりではなく、いい出来事についても積極的に保護者へ連絡する。

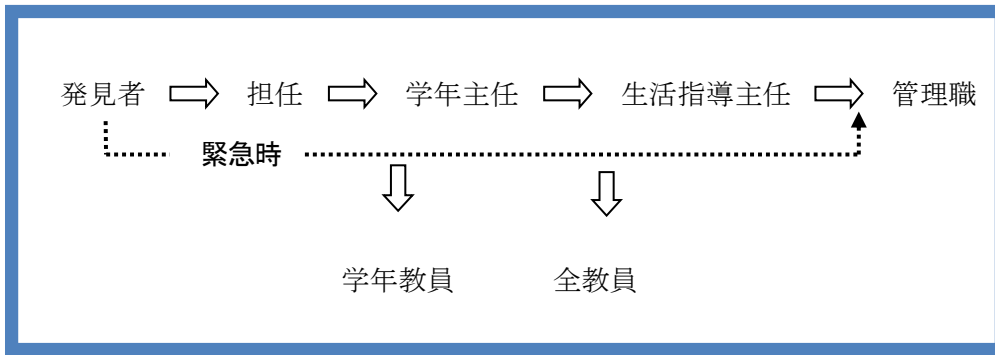
(8)組織的な対応(問題行動) ※詳しくは危機管理マニュアルを見てください。

①複数対応

- ・できるだけ多くの先生が関り関係生徒全員に対して確実に聞き取りを行う。
- ・対応した教員で意見を出し合い、最良な指導方法を検討して対応する。

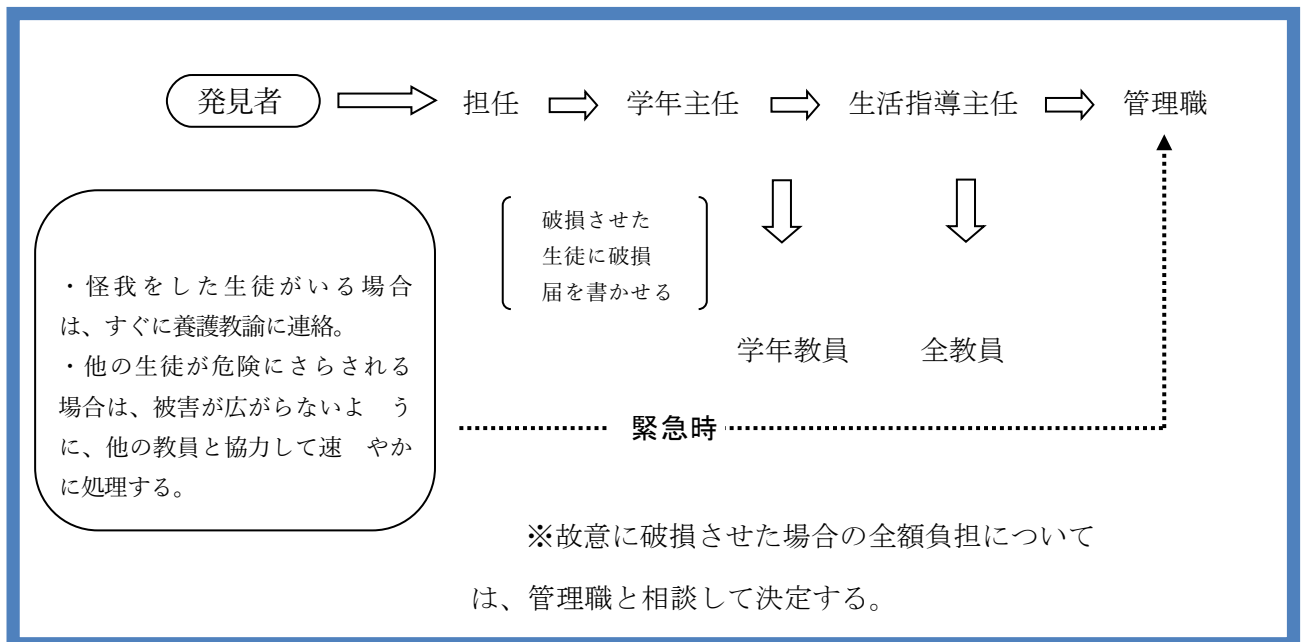
②迅速な報告

- ・全教員が実態を把握し学校体制で解決を図る。問題行動の広がりを抑える。



(基本) ①他の生徒から離す→②落ち着かせる→③座らせる

③器物が破損したときの対応

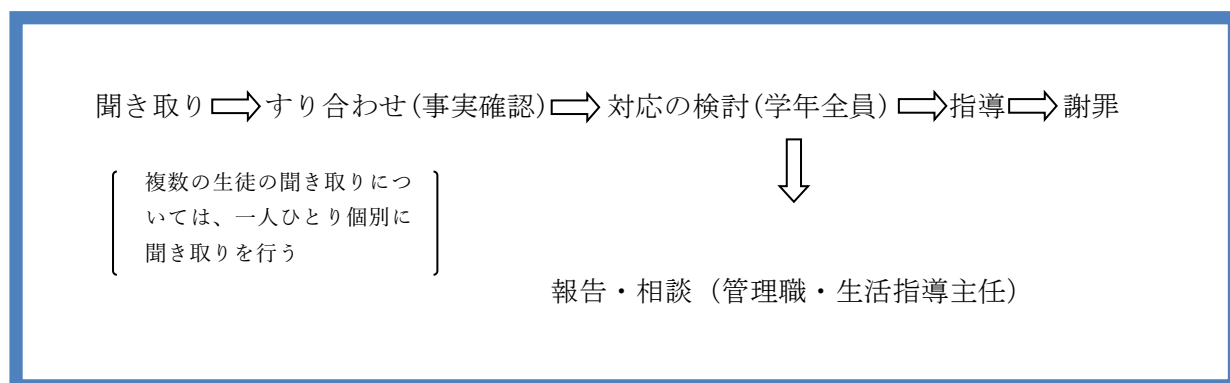


(9)いじめ防止

①日常における生活指導

- ・生徒自ら訴えてきたことに対しては、どんな小さなことでも誠実に対応する。
- ・ことばや態度によるいじめ、クラスメイトに対する非常識な態度については、その場その場で注意をしていく。
- ・学活、道徳等でいじめに関する話をとりあげ、日頃から意識付けを行う。
- ・「いじり」と「いじめ」は同じ言葉だと理解させる。
- ・毎月実施するアンケートで、訴えがあったことに対しては、聞き取りを行い迅速に対応する。また、関係生徒については、指導後も継続して見守っていく。

②組織的な対応（多くの先生方が関わり指導する）



※謝罪方法については、生徒同士、親子による謝罪等、学年で慎重に検討する。

※他学年の先生方にも情報を提供し、教科指導、部活動でも様子を見守っていく。

(10)不登校対策

①不登校初期対応について

- ・連絡がつかない欠席が3日続いたら、原則として家庭訪問を行う。その後、経過観察しさらに欠席が継続するようであれば学年で次の対応を検討する。
- ・月に3日欠席が続く生徒は、声かけや家庭連絡等を行い注意深く観察する。

※不登校のサイン

- ・巡回相談を積極的に利用し助言をもとに、今後の対応について学年で検討する。

②家庭訪問

- ・長期欠席になる前に積極的に家庭訪問を実施する。

③ふれあい相談員・SC・関係諸機関との連携

- ・多くの人の関わりにより、その生徒に合った最良の方法を検討する。場合によっては、ケース会議を行う。

④過去に不登校になった生徒への配慮

- ・クラス分け時の配慮、慎重な声掛け。

(11)欠席連絡対応

①保護者からの連絡の場合

- ・欠席連絡を受けた先生は、クラス担任・所属学年の先生に電話を回す。
- ・連絡用紙（伝言メモ）の本人・父・母いずれかに○印をつける。

※欠席連絡を生徒本人が行い、保護者が欠席の事実をしらないという事例あり。

②本人からの連絡の場合

- ・欠席理由と共に保護者が連絡できない理由を聞く。
- ・保護者が欠席を知らない場合は、本人から保護者に連絡をするように指示する。
- ・担任は欠席した当日、保護者に確認の電話を入れる。
- ・担任が内容を確認することがあるので、電話を受けた先生は名前を記入する。

(12) 安全指導の『基本』を大切にする

- ・毎月実施される避難訓練、安全指導を充実させ、いざというときに的確に対応できるようにする。
- ・避難の際の初期動作と基本的な行動を指導する。
- ・危険箇所や破損箇所の早期発見と早期修繕を行う。

3. その他

(1) 共通理解と指導の一致

- ①生活指導部会や職員会議での情報交換を密にして全校体制で取り組む。
- ②職員会議、職員朝会、学年会での報告と情報交換を確実に行う。

(2) 地域家庭との連携

- ①「あきらめず」に連絡を重ね、保護者との信頼関係を築く。
- ②必要があれば、関係諸機関と連携して対応する。

(3) 他校生・卒業生等校外からの好ましくない影響の排除

- ①心配される動きがあったときは、情報を集約し対処方針を決定し学校体制で取り組む。
- ②近隣小中学校、その他関係諸機関との連絡・連携を密にする。